

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯長 加野上 野田同 野田同 野田同
副編輯 加野上 野田同 野田同 野田同
發行所 野田同 野田同 野田同 野田同
印刷所 野田同 野田同 野田同 野田同
校部 野田同 野田同 野田同 野田同
印刷部 野田同 野田同 野田同 野田同

辞するに際して

加美 好 男
平 澤 一
柿 内 源 一

日は日々に短く夜は夜毎に長きを加ふるの秋、實に寸陰の惜む可きを痛感し、燈下温古知新の今更に肝要重大事なるに驚く。此秋に當り吾等編輯子、公的に將た私的に錯雜せる事情集積し來りて諸兄と別るゝの止むなきに到る。顧て諸兄の支持厚情の甚大なるを深謝する次第なり。

本誌創刊以來既に八回、讀者諸兄の意に適はんとして努むる事を怠らざりしも、未だ吾等が熱誠に不足する所甚だ大にして所期の形態を具ふるに日尙遠し。吾等茲に懺悔、罪を天下に謝す。

其体、空間を占得する所甚小なりと雖も氣は六合の大に伸ぶるを得る事吾れ人共に皆然り。され此事實を知りてや將た知らずしてや一所に踞踏して他を省るの余裕更になき者あり。我等が祖先五蓋皆空を説き來りて既に久しきも未だ之れをしも思はずして徒らに名利に汲々たるものあり。滔々世を擧げてモグーニズムに到らんとするも之れ僅かに外形の

み。吾等が世界、歴史なきを得ず。如何に最新式なりとは云へ其山つて來る源を訪ぬれば遙かに往昔にあり。形態に於て所謂尖端を走ると雖も内に流るゝ核流たるや確固、久遠の過去より永久の未來に亘る大真理に其基を存す。往昔既に西哲は「楯の両面を見よ」と叫ぶるを知らずや。兩面を見る、之れ際涯なき廣き宇宙を心眼を以て通觀す可きを説けるも、豈に表面にのみ觀察の眼を止めて足るを得可けんや。

「うはつら」をのみ走り得々たるの徒、星嶽雨露に遭ひて何れは剝げ斑の殘骸を世に笑はれんのみ。言ふを止めよ、追ふを止めよ。高踏吾等は共に熱誠、永遠の道を歩まん。世は吾れ人の作る所、人を舍きて他に世のある可きや。

若き諸兄、來らんとする世を如何にす可きや吾等が双肩にあり。自重と熱誠とをいやが上に希ふて筆を擱く。（五、十一、一）

蠶絲業合理化論

石倉新十郎

近來合理化と言ふ事が流行して、何にあれ少し工夫する事にも合理化と来る。流行であるから其れに當らうが當るまいがまはらない。然し合理化と言へば眞髓を捕へたエッセンスを説いた様に聞える。然るに多くは一見地よりの一論であつて眞諦を明示したもの考へては飛んでもない謬りが出る。何でも流行となるといつか本來的特質は全く失はれてしまつて、全く別なものとなつて通用するのが常習だから、合理化と言つても此頃の様になつては世人も余り注意も拂ふまいが然し時と場合によつて誤解させられないとも限らぬ。論者は其邊の事を察しても少し親切に注意を拂つて戴きたいのである。

昨今の蠶絲業は一般に非常の困難にある事は事實である。困難であるだけに蠶業の合理化、製絲業の合理的經營、絹業組織の合理的改造等々に合理化論が實に賑やかである。何を聞いても眞剣に熱心に事實を論じて居るが、さて合理化論の歸結はと見ると他力救助か共同扶助もななくば成行き任せである。一つとして心強く感じさせてくれたものはない。中には全く悲觀させられるものもある。其の一例は本紙八月號の蠶業合理化論である。其の立論の基礎は事實であり、説く所は條理整然たるもので些の憚る所はない。隨つて現在の蠶業經營に知らず誤れる所あるを教へらるゝ事少くなからうと考へ

る。然し論者自らの見地に謬りは無いか？結論が飛んでもない事に歸着して居る。即ち我が養蠶業は年と共に衰退して他の方面に漸次轉換す可きが合理的趨勢であつて、終には存在不明の程度に至る可きものと斷定されて仕舞つた。之れでは我が蠶絲業一般は大變な運命を背負つて居る事になる。斯業者は早く始末をつけ、他に移す用意をなし、學校試験所研究所は閉鎖の準備をなし、學者技術者は凡て方向轉換の仕度をしなればならぬ譯である。眞に心細い極であると言はなければならぬ。此の合理化論を眞實と信する者もあるまいが、理論のみを尊重する癖のある人は誤解しないとも限らぬ。斯かる理論盲信家ありとすれば、茲に筆者の偶語を紹介して見やう。殺人又善なりと言ふ奇抜な論である。

簡単に要旨だけを述べる。人類と云はず動物と云はず、地球上に棲宿して居るあらゆる生物で永久の生命を持続し得るものは唯の一つもない。必ず死ぬものである。親は子に子は孫に生を承けしめるが其の末裔は遂にどうなるか。地球の發散消失する熱量は太陽に照されて受けるより常に多量であるから時と共に冷却し、遂には月世界の如く氷結界となるべき運命を有す。然るが故に地球上の有ゆる生物は終に皆な死滅に歸す可きであり、之れが自然の趨軌神の意である。神の心に順ひ神意を行

ふは善なるが故に死す可きものは死するが善である。自殺善なり人を殺すもまた善なりと云ふ事になるのである。事實が事實であり條理が正しければ眞であるとならば此の論もまた眞であると言ふ事になる。大變な事になつてしまふ。之れが本當にナセンス百%とでも云ふべきであらう。吾人は現在生存して居る事が事實であつて現在と之れに引續いて來るべき將來を考へれば宜しいのである。人類の趨歸點を考へて日々を處する愚者は一人も居ない。之れと同様蠶絲業に關する者は現在將來の問題を考へれば良いのである。當てにならない空想時代を豫期して戸惑ひする愚者は居ない筈である。

天然絹絲は人造絹絲とは全く別物であつて、品質最上他の何物の近種を許さないのは事實である。斯の良質の絹絲をより良く生産し之れに加工し、生産額を益々増加させて、獨り米國を當てにせず廣く世界に供給すればよいのである。物質をせず働きて働いて倦む事をせず、贅澤を停めて出費を減少せしめどしどし生産量を増せば、いやでも一家の經濟が成立つて行き國家經濟も良くなるのである。樂をして儲けやうとする經濟思想はもう古く時代後れである。貸銀低下など無理な企てをする前に主人公から眞先に働いて見せ節約して見せる事が大切である。主人自ら眞の經濟生活を實行して見せれば余の者は命ぜられずして倣つて來る。生糸が安くなつても必ず立派に經濟が成り立つて行く。其の實例が、つい本校の近くに現存して居るのを知らない者があつた。喇叭に立廻り樂

をして儲けやうとする者のみが他に轉

換する準備を要するのである。

朝鮮の繭 (四)

第二節

(一)出廻地 繭の出廻地は其販賣方法が共同販賣に重きを置かれ共同販賣は主として繭産地の郡廳所在地又は市場開設地に於て行はるゝ關係上郡廳所在地又は其他の在來市場開

設地とし出廻地として指を屈せらるゝもの全鮮に亘り四五〇余ヶ所に上り多きは一所春蠶繭二千石以上の出廻地あるものあり二百石以上の出廻地合せて二八〇余ヶ所を算せり。其地名及出廻地概算左の如し。

Table with columns: 出廻地名, 出廻數量, 一週間總數. Lists various regions like 廣州, 濟州, 全羅, etc., and their respective quantities.

俸給被備者の保護法案

社會政策時報第二百二十二號(十一月號)に掲載されたる小池四郎氏の該法の私案の内容を記す。

俸給者保護法案

第一條 本法ニ於テ俸給被備者トハ年齢及ビ性ノ如何ヲ問ハズ、官公

Table with columns: 新上面, 北, 南, 道. Lists regions and their corresponding numerical values for the proposed bill.

應並ニ私營又ハ公營ニカ、ル商業工業、鑛業、農業、林業、運輸通信交通事業及其ノ他ノ工營事業並ニ勅令ニ依ツテ特ニ指定スル事業ニ雇傭セラル、モノニシテ労働者以外ノ智的労働者ヲ謂フ

但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ本法ヲ適用セズ

一、被備者タリト雖モソノ事業ヨリ受クル全報酬ガ其ノ事業ノ全体的ナ損益ニ依存シ損益ノ分擔者タル地位ニアル者

二、俸給年額ガ二千圓ヲ超ユル者

三、家僕

四、船舶ニ乗組中ノ者

五、他ノ保護法規ニ依リテ保護サル者

第二條 本法ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ニ之ヲ適用ス

一、常時十人以上ノ俸給被備者ヲ使用スル事業

二、事業ノ性質危險又衛生上有害ナルモノニシテ勅令ニヨツテ特ニ指定シタル者

第三條 事業主ハ俸給被備者ヲシテ一週ニ付四十八時間ヲ超エテ從業セシムルコトヲ得ズ

但シ從業中ノ休憩時間ハ從業時間中ニ算入ス

第四條 事業上業務緊急ヲ要スル場合若ハ天災事變ノタメ又ハソノ虞アルタメ必要ト認ムル場合ニハ期間ヲ限リ事業主ハ俸給被備者ヲシテ前條制限時間ヲ超エテ從業セシムルコトヲ得

但シ其ノ場合ニ於テハ事後遅怠ナク主務大臣ニ届出ヲナスコトヲ要ス

第五條 前條制限外從業時間ノ勞務ニ對シテハ事業主ハ殘業者ニ對シテ正規俸給ノ時間割額ニ相當シタル殘業報酬ヲ與フルコトヲ要ス

前項時間割額ノ算定ハ當時月給額ノ三十分ノ一若クハ日給額ヲ正規從業時間ヲ以テ除シ得タル商ヲ以テスルモノトス

桑樹補付粗密に關する試験(完了) 秋月育雄
 高知蠶試 桑樹砂地栽培に關する試験(研究中) 井川 清市
 鳥取蠶試 夏期砂地に於ける桑の早熟對應に關する
 試験(研究中) 瀧島 政博
 石川蠶試 大島 顯三
 夏秋蠶雜用專用桑育成に關する試験(研
 究中) 城戸久一郎
 島根蠶試 秋蠶期に於て條桑育用の飼料を育成する
 試験(研究中) 栗栖 徳之助
 和歌山蠶試 山口蠶試 藤田 豊
 秋蠶雜全芽育用桑試驗(研究中) 藤田 豊
 山口蠶試 晚秋蠶全芽條桑育用桑育成試驗(完了)
 山梨蠶試 夏秋蠶條桑育用桑に關する試験(研究中)
 山梨蠶試 山梨蠶試 旗野 陸郎
 夏秋蠶全芽條桑育成試驗(研究中) 有賀 新藏
 福井蠶試 桑苗生産方法に關する研究(研究中)
 高知蠶試 桑の栽培法に關する試験(研究中)
 石川蠶試 瀧島 政博
 大島 顯三
 桑苗摘心伐採に關する試験(完了)
 山梨蠶試 旗野 陸郎
 桑苗の摘葉と發育に對する影響試験(研
 究中) 高知蠶試 秋月育雄
 高知蠶試 桑苗の摘葉と發育に對する影響試験(研
 究中) 高知蠶試 秋月育雄
 桑苗の育成法に關する研究(研究中) 鹿兒島蠶試 山元 顯義
 秋季桑樹の梢頭伐採が翌春の桑葉收穫量
 に及ぼす關係に就ての研究(完了) 鹿兒島蠶試 山元 顯義

桑樹の先端伐採が葉收穫の多少に及ぼす
 影響に就ての研究(研究中) 島津 勘助
 徳島蠶試 桑樹採苗法試験(研究中) 齋藤 勇助
 東京蠶試 桑の接木に關する研究(研究中) 宮崎 高農
 桑の接木に於ける相反作用(研究中) 高木 一三
 東京高蠶 桑苗接木の時期調節法の研究(完了)
 京畿原蠶種 桑樹の簡易接木法に關する試験(完了)
 江原原蠶種 桑苗の補付方法に關する研究(未着手)
 群馬蠶試 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 桑苗育成に關する試験(研究中) 福島蠶試
 桑苗置置増進法に關する研究(研究中) 埼玉蠶試
 埼玉蠶試 岡部 康之
 桑苗の摘心、摘梢、摘葉の時期に關する
 研究(未着手) 群馬蠶試 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 桑の根拵へに關する研究(未着手) 群馬蠶試
 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 苗木の大小に區別栽植し其後桑の發育
 並收穫量の關係試験(完了) 神奈川蠶試
 神奈川蠶試 齊藤 利助
 補付當時の苗木の如何が補付後に及ぼす
 影響に關する研究(未着手) 群馬蠶試
 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 耕法方法試験(研究中) 宮城蠶試
 宮城蠶試 小野寺 源吉
 桑園に於ける耕耘に關する研究(未着手)
 群馬蠶試 吉村 眞作

大久保 四郎 岩根 謙
 桑樹栽培法に關する試験(研究中) 福島蠶試
 福島蠶試 桑樹栽培法試験(研究中) 齋藤 利助
 東京蠶試 桑樹栽培法試験(研究中) 成北原蠶種
 成北原蠶種 桑園耕耘の時期方法並其の回数に關する
 研究(研究中) 神奈川蠶試 齋藤 利助
 神奈川蠶試 桑樹栽培法並並種法に關する研究(研究
 中) 農林蠶試 菊地 助松
 密畦式栽培と普通畦栽培とが桑樹と發育
 收穫量並病害の多少に關する試験(完
 了) 神奈川蠶試 齋藤 利助
 夏秋蠶條桑育用並連成雜用桑園試驗
 (研究中) 東京蠶試 齋藤 利助
 桑樹の異なる栽培が樹齡並發育に及ぼ
 す關係(研究中) 神奈川蠶試 齋藤 利助
 桑樹伐採時期試験(研究中) 宮城蠶試
 宮城蠶試 小野寺 源吉
 枝條伐採期に關する研究(研究中) 群馬蠶試
 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 枝條の伐採が樹齡に及ぼす影響に關する
 研究(研究中) 群馬蠶試 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 夏秋蠶專用桑園の枝條伐採時期を異にし
 たる場合收穫量と樹勢との關係試験(完
 了) 神奈川蠶試 齋藤 利助
 施肥時期を異にする桑の成熟並葉質に關
 する試験(研究中) 神奈川蠶試 齋藤 利助

桑園收穫方法試験(研究中) 相馬 兵太
 栃木蠶試 桑の採葉方法に關する研究(未着手)
 群馬蠶試 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 秋期に於ける適桑努力の軽減を圖る爲條
 桑收穫の方法に關する研究(研究中) 山形蠶試
 岩瀬 三郎
 桑葉收穫法試験(研究中) 東京蠶試
 齋藤 勇助
 桑葉多收穫試驗(研究中) 福井蠶試
 有賀 新藏
 桑葉收穫時期試験(研究中) 福井蠶試
 有賀 新藏
 桑葉收穫法試験(研究中) 山梨蠶試
 旗野 陸郎
 反常補付本數を異にしたる場合桑の發育
 收穫量並葉質に及ぼす關係試験(研究中)
 神奈川蠶試 齊藤 利助
 夏秋蠶川桑の育成方法が收穫量及飼料上
 に及ぼす關係に就ての研究(研究中) 鹿兒島蠶試
 山元 顯義
 桑の收穫に關する試験(研究中) 朝鮮蠶種
 中村 鐵夫
 桑樹の發育に對する Rinsenger の影響(研
 究中) 東京高蠶 波多野 岩吉
 桑樹不定根の發生に對する刺激劑の影響
 (研究中) 東京高蠶 佐々木 定水
 桑苗の發根狀態と之が適當なる栽培方法
 との關係に關する研究(未着手) 群馬蠶試
 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 桑樹の再生機能に關する研究(完了)
 埼玉蠶試 岡部 康三
 桑樹の根部に關する研究(研究中) 東京高蠶
 川崎 謙一郎
 土壌の反應と桑樹の發育に關する研究
 (研究中) 栃木蠶試 相馬 兵太

群馬蠶試 足立 眞佐男
 桑園間作綠肥の播種量、播種法、播種期
 等の如何に依り其の發育、收穫量其の他
 に及ぼす關係(完了) 奈良蠶試 岸本 新一
 桑樹樹液の流動に關する研究(完了) 長野蠶試
 鶴田 定平
 施肥時期と桑樹成長に關する調査(研究
 中) 山梨蠶試 旗野 陸郎
 山梨蠶試 夏秋期桑樹成長に關する調査(研究中)
 山梨蠶試 旗野 陸郎
 2、品種及桑葉 齋藤 勇助
 桑樹 品種試験(研究中) 東京蠶試
 齋藤 勇助
 桑品種に關する調査(研究中) 宮崎高農
 中島 茂
 桑の品種比較試験(研究中) 神奈川蠶試
 齋藤 利助
 桑の品種に關する試験並桑の優良品種の
 育成(研究中) 農林蠶試 大澤 一爾
 桑の品種の特性比較に關する研究(研究
 中) 群馬蠶試 吉村 眞作
 大久保 四郎
 岩根 謙
 臨南道特産在來錦桑の形態、性状並實
 用上の價值に關する試験(完了) 鹿北原蠶種
 齋 靈吉
 桑品種改良に關する試験(研究中) 福島蠶試
 耐寒性桑樹品種選出試験(研究中) 成北原蠶種
 椎 成俊
 桑樹優良品種選出試験(研究中) 朝鮮蠶種
 萩野 龍間
 桑の品種と收穫及葉質の關係の研究(未
 着手) 千葉蠶試 安藤 峻
 桑の品種適否試験(研究中) 栃木蠶試
 相馬 兵太
 (國案二三號、同七〇號) 地方的適否調査

- (完了)
 - 栃木蠶試 相馬兵太
 - 關東州に適する優良桑品種選出に關する試驗(研究中)
 - 關東蠶試 安島 峻
 - 桑の品種に關する試驗(研究中)
 - 石川蠶試 瀧島 政衛
 - 大島 顯三
 - 桑の品種試驗(研究中)
 - 宮崎蠶試 井手 正壽
 - 宮崎の品種試驗(研究中)
 - 鳥取蠶試 井川 清市
 - 桑品種の性状其他の比較調査(研究中)
 - 奈良蠶試 岸本 新一
 - 稚蠶用桑試驗(研究中)
- 鳥取蠶試 大八木實司
 - 桑品種の實用上の特性に就ての比較研究(研究中)
 - 鹿兒島蠶試 山元 顯義
 - 桑樹品種別による對寒枯試驗(研究中)
 - 富山蠶試 中谷政次郎
 - 桑品種並葉の熟度が蠶の發育健全に及ぼす影響の研究(完了)
 - 長野蠶試 金崎 眞英
 - 桑の品種と蠶兒との關係試驗(研究中)
 - 山口蠶試 稚蠶用桑品種と蠶との關係試驗(完了)
 - 鳥取蠶試 大八木實司
 - 春秋蠶兼用桑試驗(研究中)
 - 島根蠶試 城戸久一郎

年賀郵便の合理化

千曲時報編輯部

年賀郵便は今年と明年との交誼の連繫でありまして必要な事は勿論であります、とかく虚禮に流れる傾向があります。そこで我編輯部は左の通りの案で同人諸兄の徒勞を出來る丈け節約すると共に年賀郵便の能率を百%以上で挙げたいと思ひます。諸兄は是非本案に御賛成の上、一口御申込の程を願ひます。

- 一、本誌に年賀廣告を出された諸兄同志は相互間に年賀狀のやり取りを一切廢する事
- 二、本誌は同窓會員全般に(住所不明でない限り)送り届けられて居ますから出された年賀廣告に依り會員全般に年賀を出したのと同じ事になります
- 三、従つて會員への年賀狀は省略してよいと思ひます
- 四、廣告料金は「金壹圓也」を載きます
- 五、御申込は編輯部宛、御送金は「同窓會宛(振替東京四三三三四一〇番)へ

- 品種を異にする桑葉の飼料的價値の研究(研究中)
 - 長野蠶試 中島 茂
 - 桑の優良品種選出に關する研究(研究中)
 - 長野蠶試 鶴田 定平
 - 桑品種と蠶の發育關係(研究中)
 - 山梨蠶試 駒宮 豊
 - 桑樹品種に關する調査(研究中)
 - 山梨蠶試 山形 佳兒
 - 山梨蠶試 鹿野 陸郎
 - 桑葉採取回数と蠶種及次代蠶兒に及ぼす關係試驗(研究中)
 - 鳥根蠶試 城戸久一郎
 - 桑葉採取回数と多少が葉質に及ぼす影響(研究中)
 - 徳島蠶試 福富 繁
 - 渡邊 藤三
 - 鳥津 勘助
 - 稚蠶期用桑葉の硬軟に關する試験(研究中)
 - 宮城蠶試 清水雄太郎
 - 桑葉の醗酵体に就ての研究(研究中)
 - 那根製糸理研 奥 正巳
 - 樹節を異にする桑葉の物理化學的成分性狀研究(完了)
 - 那根製糸理研 尾藤 省三
 - 春蠶四齡、五齡期の飼料桑葉品種別による化學成分と蠶兒成績及收購量との關係(完了)
 - 那根製糸理研 尾藤 省三
 - 桑葉の水分に關する研究(研究中)
 - 廣島蠶試 佐瀬 旭
 - 桑葉の品質と晩秋蠶作物關係試驗(研究中)
 - 島根蠶試 重瀬 十郎
 - 種々の状態に於ける桑葉と蠶作との關係試驗(研究中)
 - 長崎蠶試 岩崎 傳市
 - 日蔭桑が蠶兒發育に及ぼす關係試驗(完了)

- 高知蠶試 大山末樹
 - 瀧桑が繭質に及ぼす影響に就て(完了)
 - 徳島蠶試 福富 繁
 - 渡邊 藤三
 - 桑葉の硬軟が繭質及繭量に及ぼす影響に就て(完了)
 - 徳島蠶試 福富 繁
 - 渡邊 藤三
 - 桑葉の差異が蠶の強弱並繭量に及ぼす影響に就て(完了)
 - 徳島蠶試 福富 繁
 - 渡邊 藤三
 - 紫外線の放射による桑葉成分の相違及之れが蠶兒發育、成繭、次代蠶兒に及ぼす影響研究(未着手)
 - 山梨蠶試 岡田 輝彦
 - 桑葉の發育に伴ふ成分の變化研究(完了)
 - 那根製糸理研 奥 正巳
 - 外界(日照不足、氣象、日定期現象)と桑葉質の研究(完了)
 - 那根製糸理研 岩岡 末彦
 - 尾藤 省三
 - ポルドー液並硫酸鉛が蠶兒の發育並其他に及ぼす關係(完了)
 - 奈良蠶試 岸本 新一
 - 所謂桑葉質の善悪が蠶兒の發育其他に及ぼす關係(研究中)
 - 奈良蠶試 早瀬 喜一郎
 - 葉位を異にする桑葉の飼料的價値の研究(研究中)
 - 長野蠶試 中島 茂
 - 桑葉中の有毒物質に關する研究(研究中)
 - 長野蠶試 中島 茂
 - 桑葉水分並貯桑中減耗に關する調査(完了)
 - 山梨蠶試 鹿野 陸郎
 - 桑葉に關する試験(完了)
 - 山梨蠶試 田形 幾美
 - 桑葉熟度の實用的測定法に關する研究(研究中)
 - 上田蠶系 井上 柳樹
 - 収葉法に關する試験(研究中)

- 鳥取蠶試 井川 清市
 - 桑葉發育程度と作柄との關係試驗(研究中)
 - 滋賀蠶試 井上 秀行
 - 桑葉の生長に關する研究(研究中)
 - 東京高蠶 高木 二三
 - 桑葉の組成と肥料との關係(研究中)
 - 鹿兒島高蠶 吉村 清尚
 - 木脇 實熊
 - 3、病 虫 害
 - 桑樹寒枯病に關する試験(研究中)
 - 福島蠶試
 - 桑樹の寒枯豫防試験(研究中)
 - 關東蠶試 安島 峻
 - 桑樹の寒枯を藥劑の塗抹及撒布に依つて防止の有無研究(研究中)
 - 山形蠶試 風間 勝治
 - 桑樹胴枯病豫防藥劑に關する研究(研究中)
 - 青森蠶試 小林 庸
 - 桑樹萎縮病に關する研究(研究中)
 - 埼玉蠶試 中村 重太郎
 - 桑の萎縮病豫防に關する研究(研究中)
 - 群馬蠶試 吉村 眞作
 - 大久保 四郎
 - 岩根 謙
 - 桑樹の萎縮病に犯され易き品種の繭木を同病少き品種の繭木に接木を爲し接木變異の有無研究(研究中)
 - 山形蠶試 風間 勝治
 - 桑樹胴枯病と品種との關係試驗(研究中)
 - 新潟蠶試 江木 良之助
 - 武市 傳
 - 桑樹病と肥料との關係試驗(研究中)
 - 新潟蠶試 江木 良之助
 - 武市 傳
 - 桑樹胴枯病の豫防に關する試験(研究中)
 - 新潟蠶試 江木 良之助
 - 山田 濟